

平成 30 年度市町村等活動状況

市町村等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
岡谷市	<p><b>【水質保全】</b>  <b>【生活排水対策の推進】</b>                      ①水環境に配慮した生活行動の推進                      ・「下水道の日」に合わせ「広報おかや9月号」への下水道の正しい使い方や早期接続依頼について                      ・上の原小学校4年生に対し授業の一環として、下水道の仕組み、役割等について「出前講座」を実施                      ②下水道供用区域内における下水道への接続促進                      ・未接続家屋への接続依頼、各戸訪問及びチラシ配布(約190戸)                      ・排水設備融資斡旋(1件)  <b>【廃棄物処理による処理】</b>                      ③〔不法投棄等による水質汚濁の防止〕(随時)                      ・不法投棄の多発箇所に啓発看板を設置                      ・市報に不法投棄防止の啓発記事を掲載した                      ・不法投棄監視通報システム(監視カメラ)の設置(H31.1～H31.3)  <b>【湖沼の対策】</b>                      ④〔手作業によるヒシ除去作業、除去したヒシの堆肥化〕(平成30年7月14日)                      ・諏訪湖漁業協同組合、環境市民会議おかやと共催で開催。                      諏訪湖の水質汚濁防止と諏訪湖に対する浄化の意識の高揚を目的に、市民・事業者・市が相互に連携を図り、ヒシの除去を行った。                      ⑤〔諏訪湖岸に打ち上げられたごみの除去〕                      ・諏訪湖一斉清掃 年2回(平成30年5月27日、10月21日)  <b>【工場・事業場排水対策】</b>                      ⑥ 排水規制                      ・グリーストラップ使用状況立入検査(264事業場) → 改善指導(2事業所)                      ⑦ 汚濁負荷量規制                      ・特定事業場立入検査(63事業場) → 管理指導(36事業所)  <b>【市街地対策】</b>                      ⑧〔各戸における雨水の貯留・涵養の維持のための雨水貯留、浸透ますの設置〕(随時)                      ・100リットル以上の雨水貯留施設に要する経費または自作用材料費に対して補助金を交付した。                      ⑨〔不法投棄やごみのポイ捨て防止のための啓発〕(随時)                      ・③と同様  <b>【流出水対策】</b>                      ⑩〔市街地対策〕                      ・道路面の清掃                      ・道路側溝・水路等の清掃                      ⑪〔農地対策〕                      ・環境保全型農業の継続&lt;通年&gt;                      ・有機JASの継続&lt;通年&gt;                      ・「エコファーマー」取得希望者への説明&lt;12月&gt;  <b>【公共用水域の水質監視】</b>                      ⑫〔水質検査〕                      ・地下水調査(10月下旬～11月上旬)                      ・諏訪湖及び天竜川流入河川水質調査(2月中旬)                      ⑬〔油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導〕(随時)                      ・流出事故発生時に流出元を調査し、被害拡大と今後の事故防止のための指導を行った。                      ・市報やパネル等で流出事故防止のための記事を掲示した。</p>	<p>①水道課下水道担当                      ②水道課下水道担当                      ③職員                      ④市民(150人)                      ⑤市民                      ⑥水道課下水道担当                      ⑦水道課下水道担当                      ⑧市民(2件)                      ⑨職員                      ⑩職員                      ⑪                      ・環境保全型農業の継続                      栃久保耕作組合 2名(うち1名はH29年度から有機JAS継続)                      ・「エコファーマー」取得希望者への説明                      認定農業者 1名                      ⑫職員、委託業者                      ⑬職員</p>	<p>①接続促進のための家庭訪問、諏訪湖浄化に関する下水道の正しい使用方法などをPRすることより、諏訪湖の環境改善に尽力した。                      ② ①と同様                      ③不法投棄が減り看板の効果が出た箇所もあるが、不法投棄自体が減少したわけではないため、今後も継続して、啓発活動を行っていく。                      ④除去したヒシ 8トン ヒシは堆肥化し、イベントで配布した。                      ここ数年岡谷地籍ではヒシの量が増加傾向にあるため、今後も継続してヒシの除去を続けていく。                      ⑤一斉清掃は、毎回多くの市民に参加していただき、活動として定着し、ごみは減少傾向にある。今後も継続して行いたい。                      ⑥ ①と同様                      ⑦ ①と同様                      ⑧補助金を2件交付した。                      ⑨ ③と同様。                      ⑩道路路面の清掃:0m                      道路側溝、水路等の清掃:市発注が280m、各行政区が9,870m                      ⑪                      ・環境保全型農業の取り組みが継続し、対象面積が微増した。                      ・畑作で有機JASの取り組みを継続することで、近隣農業者に環境にやさしい農業の意識付けができていく。                      ・「エコファーマー」の取得に向けて、環境問題への意識が高まった。                      ⑫地下水調査:市内27箇所を調査 岡谷市が調査した27箇所には、基準値を超えた箇所存在しなかったが、県の調査では基準値を超えた箇所があった。                      河川調査:4河川を調査 現在調査中                      ⑬流出事故が発生し原因者が判明した場合には、今後の事故防止のために指導した。</p>	

平成 30 年度市町村等活動状況

市町村等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
岡谷市	<b>【生態系保全】</b> <b>【多様な生育・生息基盤の創出】</b> ①〔間伐を中心とした森林整備〕 間伐:110ha 時期:H30.4~H31.1 <b>【水生動植物の管理】</b> ②〔アレチウリ駆除(湖周、流入河川)〕 ・ヒシ除去と同時にアレチウリを駆除 ・NPO 法人天竜川ゆめ会議主催のアレチウリ駆除に協力 ・アレチウリを駆除した団体へ補助を行った	①岡谷市、新倉山復旧協議会、山栄建設、飯森林業、中央緑化 ②市民	①間伐の実施により、下層植生が生え、表土の流出が抑えられる。このことから、森林の土壌が健全に保たれ、雨水の浸透量や保水量も多くなるため、水源かん養機能が維持、増進される。 ②今年度も協力いただける団体があり、物品支給による補助を行った。アレチウリの駆除には継続した活動が必要なので、今後も駆除活動や支援を行いたい。	
	<b>【湖辺面活用・まちづくり】</b> ◇諏訪湖周サイクリングロードの整備 ・岡谷市管理区間であるI~J区間について測量設計を開始 ・H30年6月~H31年3月まで ◇諏訪湖周サイクリングロード検討会議の開催 7回開催(5月~2月) 出席者 延べ140名程度 ・サイクリングロードの計画にあたり詳細内容を協議 ・諏訪湖周自転車活用推進計画(案)の作成(長野県・諏訪市・岡谷市・下諏訪町)	◇諏訪湖周サイクリングロードの整備・諏訪湖周自転車活用推進計画(案)の作成 ・長野県・諏訪市・岡谷市・下諏訪町 延べ140名程度 市民(350名)	・諏訪湖周のサイクリングロードの整備にあたり、設計に関する仕様や構造等の検討を深めた。 ・関係機関との協議調整を長野県・諏訪市・岡谷市・下諏訪町の合同で行い、円滑な打合せを実現させることが出来た。 ・諏訪建設事務所のご尽力で諏訪湖周自転車活用推進計画の策定の目処が立った。	
	<b>【調査研究・学びの推進】</b> 学びの推進 諏訪湖に関する学習活動の推進 ◇岡谷市の環境を考えるシンポジウムの開催(9月24日) ・基調講演:NPO 法人海辺づくり研究会事務局長 木村尚氏 ・事例発表:岡谷市立岡谷南部中学校生徒会 ・パネルディスカッション パネリスト:木村尚氏、信州大学名誉教授・諏訪湖クラブ会長 沖野外輝夫氏、長野県副知事 中島恵理氏、諏訪湖漁業協同組合長 武居薫氏、岡谷南部中学校生徒会 コーディネーター:NPO 法人全国水環境交流会代表理事 山道省三氏		・環境保全活動を継続して行うためには、楽しみながら活動を行うことが重要であり、今後の活動の指針となった。参加者にも好評をいただいたシンポジウムとなった。	
諏訪市	手作業によるヒシ除去作業(トヨタソーシャルフェス、7/21)	市内・市外ボランティア、諏訪湖漁業協同組合、諏訪郡連合婦人会、諏訪湖浄化推進和限、信濃毎日新聞社、市職員ほか122名	すわっこランド周辺ほかでヒシ8.0t	
	除去したヒシの堆肥化(7/21~)	諏訪湖浄化推進和限	ヒシ8.0t	
	全市一斉清掃(5/27、10/21)	春:29団体1,071名 秋:22団体589名 市内中学生、市民、各種ボランティア、諏訪市衛生自治連合会、市職員ほか	諏訪湖畔、上川、市内各地区ほかで実施。 5/21:可燃ごみ1,754kg、不燃物144kg 10/21:可燃ごみ1,740kg、不燃物147kg	
	諏訪湖浮遊物除去(10/21)	NPO 法人諏訪市セーリング協会、市職員ほか20名	ヨットハーバー周辺ほかで可燃ごみ70kg、カン8kg、ビン5kg、その他12kg	
	不法投棄パトロール及び回収(通年)		市内流入河川、諏訪湖畔ほかで73回(H31/3/11現在)。可燃ごみ405kg、資源物195kg、指定家電及び処理困難物14台	
	不法投棄防止啓発(通年)	市民	啓発用のぼり旗170枚、看板21枚の配布ほか(H31/3/11現在)	
	市内河川水質検査(年2回)		市内5河川(6項目調査)及び市内2河川(10項目調査)	
油類流出等発生時の調査及び被害拡大防止のための指導(通年)		16件(H31/3/11現在)		

平成 30 年度市町村等活動状況

市町村等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)																										
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果																											
諏訪市	アレチウリ駆除(5/27、7/7(雨天中止))	市内中学生、市民、各種ボランティア、諏訪市衛生自治連合会、市職員ほか 476 名	5/27:110 kg																											
	環境紙芝居の実施(通年)	市内全 13 保育園の園児延べ 865 名、保育士、市職員	諏訪湖浄化ほかの環境問題をテーマとした紙芝居を 18 日間実施																											
	環境パネル展示(2/25~3/8)	市庁舎来庁者	市庁舎ロビーにてプラスチックスマートなどに関するパネル展示																											
	諏訪湖浄化対策連絡協議会(諏訪圏 6 市町村で構成)の事務局運営(通年)	②諏訪圏 6 市町村民、各種団体、6 市町村職員ほか 126 名 ③信州大学農学部大窪教授及び研究室学生、諏訪圏 6 市町村	①LCV-FM、LCV チャンネルでの諏訪湖浄化啓発CM放送(8~9月) ②諏訪湖浄化講演会(1/29、全国川ごみネットワーク小口智徳理事、海なし県から“海ごみ”を考える~川ごみはどこへ行くのか~)の開催 ③宮川流域河川の河川敷における特定外来生物(植物)の分布調査																											
	諏訪湖周サイクリングロードの整備 →【平成 30 年度新規事業】ヨットハーバーから下諏訪境までの区間について測量及び予備設計を実施(H30 年 4 月~H31 年 3 月)	委託業者 2 者	・H31 年 3 月委託業務完了予定																											
茅野市	<p>○河川水質調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市内河川 14 地点 11 項目 年 2 回(5 月、10 月)</li> <li>・山岳地域 5 地点 11 項目 年 1 回(10 月)</li> </ul> <p>【参考 BOD 数値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>河川名</th> <th>5 月</th> <th>10 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 川</td> <td>0.5mg/l未満</td> <td>0.5mg/l未満</td> </tr> <tr> <td>宮 川</td> <td>0.5mg/l未満</td> <td>0.5mg/l未満</td> </tr> </tbody> </table> <p>○河川農薬水質調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22 地点、10 項目(うち農薬成分 4 項目)、年 2 回実施(5 月、10 月)</li> <li>・環境基準値を超過する農薬成分は未検出。</li> </ul> <p>○ゴルフ場農薬の水質調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茅野市内 5 ゴルフ場、年 2 回実施</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ゴルフ場名</th> <th>5 月</th> <th>10 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三井の森蓼科ゴルフ倶楽部</td> <td>9 項目</td> <td>12 項目</td> </tr> <tr> <td>フォレストカントリークラブ三井の森</td> <td>10 項目</td> <td>15 項目</td> </tr> <tr> <td>蓼科高原カントリークラブ</td> <td>10 項目</td> <td>13 項目</td> </tr> <tr> <td>蓼科東急ゴルフコース</td> <td>15 項目</td> <td>11 項目</td> </tr> <tr> <td>鹿島南蓼科ゴルフコース</td> <td>2 項目</td> <td>10 項目</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準値を超過する農薬成分は未検出。</li> </ul>	河川名	5 月	10 月	上 川	0.5mg/l未満	0.5mg/l未満	宮 川	0.5mg/l未満	0.5mg/l未満	ゴルフ場名	5 月	10 月	三井の森蓼科ゴルフ倶楽部	9 項目	12 項目	フォレストカントリークラブ三井の森	10 項目	15 項目	蓼科高原カントリークラブ	10 項目	13 項目	蓼科東急ゴルフコース	15 項目	11 項目	鹿島南蓼科ゴルフコース	2 項目	10 項目	検査は全て業者に委託	検査結果の詳細は茅野市ホームページに掲載
河川名	5 月	10 月																												
上 川	0.5mg/l未満	0.5mg/l未満																												
宮 川	0.5mg/l未満	0.5mg/l未満																												
ゴルフ場名	5 月	10 月																												
三井の森蓼科ゴルフ倶楽部	9 項目	12 項目																												
フォレストカントリークラブ三井の森	10 項目	15 項目																												
蓼科高原カントリークラブ	10 項目	13 項目																												
蓼科東急ゴルフコース	15 項目	11 項目																												
鹿島南蓼科ゴルフコース	2 項目	10 項目																												

平成 30 年度市町村等活動状況

市町村等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
下諏訪町	<p>以下&lt;*&gt;は下諏訪町湖浄連の活動を支援:団体事務局 &lt;‡&gt;は長野県ボート協会の活動を支援:団体事務局</p> <p>1 湖岸清掃:4月～3月(12回)&lt;*&gt; 毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。町による町内一斉清掃活動を5月、10月に実施。</p> <p>2 水辺のごみ調査:4月～11月(7回) 湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。</p> <p>3 アレチウリの除去作業:4月～9月(6回) 湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。</p> <p>4 第4回川ごみサミット in 下諏訪の開催【新規事業】:11月24日、25日&lt;*&gt; 全国の河川・海洋環境保全に取り組む個人や団体が集まり、情報や意見を交換するイベントを、下諏訪町町制施行125周年記念事業として下諏訪町で開催。</p> <p>5 小学生に対する環境学習:7月10日・8月11日(クリーン祭での清掃)・10月15日&lt;*&gt; 小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。</p> <p>6 諏訪湖クリーン祭の開催:8月11日 &lt;*&gt; 各団体によるブース展示、稚エビの放流、湖上観察会や親子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</p> <p>7 夏休み親子体験教室「諏訪の湖[うみ]には魚多し！」 諏訪湖では古くから様々な方法により漁が行われてきましたが、その伝統的漁法は近年では失われつつあります。下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館では、諏訪湖の伝統的漁法を伝承していくため、諏訪湖漁業協同組合の監修及び協力により「大四手網」を設置しています。 「大四手網」の活用と漁師との交流を通じて漁業への理解及び学びの場とするため、夏休みに合わせ、体験教室を開催しています。 長野県水産試験場諏訪支場と連携し、同日開催の支場祭へ参加し、稚エビの放流を通じて試験場の役割と活動を学びました。 開催日時:平成30年8月3日(金) 午前9時30分から12時 実施内容:大四手網の操作・投網の体験(講師:漁協)／稚エビの放流(講師:試験場職員)</p> <p>8 広報誌(9月号)に接続促進記事の掲載 ・未接続家屋へのチラシ配布(通年) ・特定事業場及びその他事業場への立入水質検査48事業場</p> <p>9 諏訪湖岸の芝等の管理 4月～12月(年4回実施)</p> <p>10 赤砂崎公園の整備 赤砂崎公園右岸エリアの広場整備(公衆便所建築、四阿建築、ピオトープ整備等)を実施(4月～12月)</p> <p>11 教室名:みずべフィットネス 湖畔の健康スポーツゾーンに整備された屋外健康器具15基を使った健康講座 ・第1期(4月～6月)全6回 ・第2期(9月～11月)全6回</p> <p>12 フォロー講座:月いちウォーキング インターバル速歩講座、みずべフィットネスの卒業生を対象にした講座(4月～3月 全12回)</p> <p>13 砥川ごみ拾い作業(平成30年4月14日) 砥川ニセアカシア除伐・草刈り作業(平成30年6月16日・平成30年10月6日)</p> <p>14 諏訪湖岸の街路灯の更新及び足元等の設置 ・街路灯(諏訪市境から高木運動公園手前) 18基(6月～11月) ・足元灯(漕艇庫先からハーモ美術館付近) 75基(12月～2月)</p> <p>15 諏訪湖周サイクリングロードの整備 ・漕艇庫前から十四瀬川の区間の測量設計(7月～3月)(未整備区間のジョギングロード含む) ・諏訪湖周サイクリングロード検討会議の定期開催 6回(5月～2月)</p>	<p>1・2・3 下諏訪町民、湖浄連会員</p> <p>4 下諏訪町民、湖浄連会員、全国の環境団体等 約130人</p> <p>5 下諏訪南小学校5年生、6年生</p> <p>6 下諏訪町民、湖浄連会員等 約250人</p> <p>7 親子16人(大人4人・子ども12人)、諏訪湖漁業協同組合員1人、長野県水産試験場諏訪支場職員</p> <p>8 町</p> <p>9 町、シルバー人材センター、委託業者</p> <p>10 町</p> <p>11・12 下諏訪町民</p> <p>13 砥川を愛する会会員、地元住民、社中学校生徒、行政職員(町、県) 計100名</p> <p>14・15・16 町</p>	<p>1 ごみを拾うことで諏訪湖に漂着したごみが減り、環境及び景観の保持につながった。 【活動実績】可燃物1,420kg、不燃物390kg 計1,810kg(H31.2月現在)</p> <p>2 諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料となった。</p> <p>3 外来種を除去することで在来種を守り、生態系の保全につながった。</p> <p>4 地元小学生や全国での取組事例の発表を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会となった。</p> <p>5 ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらった。</p> <p>6 諏訪湖とふれあうイベントとして定着しており、参加者は楽しみながら諏訪湖に親しんでいる様子であった。開始前には湖岸清掃も行われ、60kgのごみを収集した。</p> <p>7 諏訪湖には多種多様な魚が住み、その魚を獲る方法も、季節・種類・場所等により様々であったこと、又漁協及び水産試験場と連携することで、獲る側、育てる側の両面から、学んでいただけたと思います。また湖水際にまで行くことで、湖とふれあえる場となったと思います。</p> <p>8 新規接続者 2件</p> <p>9 湖岸通りの芝刈りは、県との協定では年2回実施となっているが、昨年度の維持管理方法の見直しにより、今年度は芝刈り実施回数を4回に増やすことができ、より良い維持管理ができた。</p> <p>10 公園利用状況(H30.9.30現在) グラウンド利用者:1620人、ヘリ訓練:5回、役場行事:20回</p> <p>11 第1期43名、第2期59名の方が参加し、日々の健康づくりにつながる運動方法を習得。 教室日以外でもご自身による諏訪湖畔でのウォーキングや筋力トレーニングに取り組む姿があり、健康づくりの拠点として利用があった。</p> <p>12 3月末までに163名(予定者数)の参加があり、過去の教室参加者のフォローを行っている。</p> <p>13 5年以上前の教室参加者から直近の参加者まで、健康づくりに積極的に励む方の運動支援の場であり、仲間づくりの場にもなっている。</p> <p>14 計3回の活動を通して、約100kgのごみ及び約2600kgの草を回収。</p> <p>15 やすらげる水辺空間の創出</p>	<p>7 「諏訪湖と人々の暮らし」をテーマに活動している諏訪湖博物館では、今後も各種団体等と連携し、各種事業の展開を図っていきたいと考えています。</p> <p>11・12 教室開催時、諏訪地域外の方(観光客、ウォーキングの為に来る方)にお行き会いする中で、「諏訪湖沿いは環境が整っていて良いね」との声をいただいたことがあります。普段、この環境が当たり前になりつつありますが、来訪者とお話させてもらったことで恵まれた環境での暮らしができることを更に実感しました。富士山が見え、ジョギング、ウォーキング、サイクリングロードが整備され、定期的な除草作業で、維持された環境をいつまでも保ちたいですし、外から来た方が魅力的と感じる諏訪湖エリアを今後も有効に活用したいと感じます。</p> <p>13 諏訪湖へ流入する砥川をきれいに保つことで、諏訪湖美化へつながること、また地元中学生とともに活動を行うことで、中学生への環境保全意識の醸成にもつながると考えています。</p>

平成 30 年度市町村等活動状況

市町村等	平成 30 年度の活動状況			その他 (諏訪湖に対する思いなど)
	活動の内容及び実施時期	活動への参加者	活動の成果	
下諏訪町	<p>16 健康スポーツ施設整備(新艇庫建設に向けた準備) 通年 新艇庫は、諏訪湖活用拠点(水上防災拠点・艇庫)と位置付け、災害時に諏訪湖上を船で物資や人員を輸送するための水上防災拠点と、ボートやカヌーをはじめとする水上スポーツによる体験型観光プログラム等の拠点となる艇庫機能を合わせもつ施設を整備する。平成 30 年度は実施設計や建築確認等を進め、平成 31 年度着工予定。</p> <p>17 各種ボート競技の開催 (1)5/12、13(土・日) 第 41 回信毎諏訪湖レガッタ・第 19 回全国ナックルフォア大会 (2)7/28(土)砥川カヌー下りイベント、ボート&amp;カヌーモニター体験会 (3)8/11 ボート&amp;カヌーモニター体験会 (4)8/18、19(土・日) 第46回中部選手権競漕大会 (5)9/9(日) 第 37 回下諏訪レガッタ</p> <p>18 東京オリンピック・パラリンピックボート競技事前合宿誘致 通年 19 手作業によるヒシ除去(ビジョン推進会議が実施した作業への参加) 7月&lt;※&gt; 20 手作業によるヒシ除去(下諏訪町漕艇場) 8/5(日)&lt;※&gt; 21 その他の水草の除去(下諏訪町漕艇場) 8月下旬&lt;※&gt; 22 平成 27 年より諏訪湖畔に位置する赤砂崎公園において夏季のイルミネーションを実施。諏訪湖サマーナイト花火と開催期間を合わせるなど、花火とイルミネーションを同時に楽しめる湖畔の水辺空間を活用した夏の風物詩として定着を図り、観光振興および地域連携の場として、住民参加型の集客力を持ったイベント開催を目指している。本年度は、長野県発元気づくり支援金の活用もあり、さらなる住民参加型の集客力を持ったイベントの構築のために町民向けイルミネーションセミナーの開催や企業・イルミネーション愛好家の自慢の作品の展示などを行った。 ・開催期間:平成 30 年 7 月 22 日～平成 30 年 9 月 2 日 ・点灯時間:19:00～22:00(毎夜開催)</p>	<p>17(1)県内外 182 クルー (2)砥川カヌー下り:諏訪湖周の首長および県関係者、議員 計 24 名、ボート&amp;カヌーモニター体験会は台風接近に伴い中止 (3)下諏訪町住民を主とした諏訪地域住民 31 名 (4)県内外 101 クルー (5)県内外 94 クルー</p> <p>18 町、長野県観光課スポーツコミッション担当 19 協会事務局 1 名 20 協会役員、地元高校ボート部員 約 100 名 21 協会役員、水草刈り取り業者 22 イルミネーションセミナー: 7月7日(土)13:00 開催、受講者 29 名 イルミネーション作品出展者数: 企業 6 社、個人 1 家族、総作製者数 42 名</p>	<p>16 実施設計は完了。平成 31 年度 7 月の着工に向けて準備が進んでいる。 17 ボート大会では各クルーが熱戦を繰り広げ、スポーツ振興や青少年育成の一助となった。県外の希望者には、宿泊・弁当の斡旋を行い、経済効果に繋がった。ボート・カヌーの体験会では、参加者が諏訪湖に親しむきっかけとなるとともに、今後の観光資源化に向けた検討も進んだ。 18 ボート世界選手権や各国オリンピック総会の場合において、各国に誘致活動を行った。現段階ではまだ合宿が決まったわけではないが、具体的なターゲットが決まってきており、交渉を進めている。 19・20・21 ヒシや水草の除去により、腐敗による環境悪化を防ぐとともに、ボートの航行への障害を排除し、湖辺面の活用に繋がった。 22 サマーイルミネーション入場者数 来場者数・・・4,160 人、 点灯期間・・・43 日間(7月22日～9月2日) 来場者数(午後 8 時の時点)平日(月～木) 30 人×2 回転×23 日 週末(金～日) 50 人×2 回転×23 日 お盆(8/14,8/16) 80 人×2 回転× 3 日</p>	<p>18 ボート競技の事前合宿の際には、本番に近い環境のコースを設営するため、下諏訪町高木付近のヒシを除去する必要がある。2019 年 8 月のプレ大会の際にも事前合宿が入る可能性があるため、長野県や関係団体のご協力をお願いしたい。 19・20・21 漕艇場内の水草が異常に繁茂するようになってきており、その除去はボート関係者や下諏訪町だけでは不可能になってきている。長野県や、その他諏訪湖に関係する皆様のご理解とご協力をお願いしたい。 22 しもすわサマーイルミネーションは来年度も実施予定であり、地域住民との協働の場所・地域の特色ある観光地づくりとして各種団体と調整しています。事業規模も拡大する計画で、既に協働人数 100 人、出展者 12 団体から内諾を得て、来場者数 1 万人を目標とする予定です。ご来場いただく方は、町民はもちろん、観光団体と連携してツアーの一部に組み込むことで、県外からの観光客の誘客を進めています。以前より検討していた屋台等の設置について、町内の事業者が出店の意向を示しており、来年度のイルミネーション点灯期間にビアガーデン等の開催を予定しています。</p>
富士見町	<p>・アレチウリ除去作業(宮川)の実施(7月)</p>	<p>・約20名</p>	<p>毎年作業を継続して実施。町内ではアレチウリは増加傾向であるが、宮川については減少傾向となっている。</p>	
原村	<p>・オオキンケイギク除去作業 村道 2011 号 1500m(5/26) ・オオハンゴンソウ除去作業 村道 7080 号 (7/30)</p>	<p>・オオキンケイギク 34 人 ・オオハンゴンソウ 15 人</p>	<p>・オオキンケイギク 470kg ・オオハンゴンソウ 560kg</p>	